令和８年１１月９日

那須烏山市議会議長　様

（議席番号）11番　小堀道和

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問相手
１学校、家庭、地域で子どもを育てる地域学校協働活動について	文科省が示した「社会に開かれた教育課程」の実現は子どもを育てる重要な活動であり、これらを実現するための「地域学校協働活動」が本市でも全ての学校で推進され、子どもの人材育成に大きな成果を上げて欲しいとの思いから以下の通り質問する。 ① 「地域学校協働活動」について説明したが本活動の趣旨や目的・目標、活動の背景や取り組むべき具体的活動など私の認識が正しいか、また抜けている内容があるか見解を伺う。 ② 各学校長は地域や支援団体等にキチンとどんな人材に育てたいのかということを説明して活動を始めているのか、また活動途中でも子どもの成長を共に確認する仕組みにしているのか伺う。 ③ 本活動は学校が地域の皆さまに協力をお願いして始まるものであり学校が非協力的などは考えられない。そのため校長先生は全面的に活動推進者でなければならないが現状も含めて見解を伺う。 ④ この活動は各学校と地域独自の子育て支援活動であり地域や関係する団体が学校の協力を得て主体的に進め、地域の多くの人が活動の輪の中に入って行う活動が期待されている。「地域学校協働活動」を通して子どもも大人も地域もみんな元気になる活動と謳われているが教育委員会の役割についてあるべき姿を伺う。 ⑤ 謝礼などの人件費について確認する。講師の人の謝礼は当然対応すべきと考えるが活動スタッフや地域の活動応援者などはお茶代の予算はつけても人件費は無償ボランティアが望ましいと思う。理由は活動を長く継続するためである。有償にすると予算がなくなると人が集まらず活動がストップしてしまう「金の切れ目が縁の切れ目」となってしまう活動をたくさん見てきたからである。初めからこのことを丁寧に説明することで地域の皆様に納得してもらえると思うが見解を伺う。 ⑥ 文科省の重点活動である「地域学校協働活動」を本市では年間 10 回にも満たない学校があると聞きましたが本市の活動としてどのような目標を掲げて取り組んでいるのか。宇都宮市のように最低 40 回/年との目標は困難であれば期間も明示し最終目標をいつまでに何回と設定し努力してはと考えるが見解を伺う。 ⑦ 繰り返しで申し訳ないが、活動推進のためには困難な状況が立ちふさがってくるが「どうすればできるだろうか?」と前向きに話し合うことでほとんどのことが解決できる。出来ない理由はだれでも言えるが、「どうすればできるだろうか?」と考えを 180 度ひっくり返せば出来ない理由と同じ位のアイデアが出てくる。このような考えを関係者みんなで共有し活動を推進して欲しいが見解を伺う。 ⑧ 「学校環境の整備」関係の地域学校協働活動の紹介をしたが、これらの活動は直ぐに採用すべきと考えるがどうか。学校と推進員・コーデネーターが常に連携を密にし、学校側のニーズをよく理解してもらい地域に働きかけることが必要であり成功の鍵と思うがどうか。また、紹介した事例が教員の働き方改革に寄与するという考え方に対する見解も含めて伺う。	教育長

那須烏山市議会 受 8.11.-9 付 4

２まちに活気を生み出す市民目線の図書館経営について	現在、本市の図書館は次々と新しい活動を企画し「市民の交わりを活発化し、まちに賑わいと活気を生み出す活動を始めている。このすばらしい活動をさらに助長し全国トップレベルになって欲しいとの願いから以下の通り質問する。 ① 現在次々と新しい斬新的な活動を展開している図書館活動は市担当部署が働きかけたからなのか、それとも現在の事業者が自らの価値観で始めたことなのか伺う。 ② 紹介した市担当課の「仕様書」も事業者の年度事業計画書も定性的な内容がほとんどであり具体的な目標・目的もワクワクするような目指す姿の記述もない内容だった。それにも拘らずびっくりするような斬新的な活動を次々と企画実施するようになったのは何故なのか見解を伺う。 ③ 市の意向である「仕様書」と「事業評価書」を見て改めて全ての部署で前例踏襲の仕事から脱却と口では言っているが具体的な仕事の進め方にまで市長の思いが伝わっていないと感じる。市長以下上層管理者にも未来に夢が広がるまちづくりについて常に前例踏襲からの脱却や具体的なワクワク感の仕事の進め方の大切さを伝え続けて欲しいが見解を伺う。 ④ 全国トップレベルには入館者数を見ても、まだまだ程遠く、一筋の光がさしたレベルではあるが市の全面的な支援により各地から見学者が来るような素晴らしい図書館になって欲しい。そのために夢ある具体的活動計画を策定しスタートダッシュして欲しいが見解を伺う。	教育長 市　長

総計時間	６０分	発言所要時間	３０分	答弁を求める予想時間	３０分